



森六
MORIROKU

森六株式会社

2027年3月期第 1 四半期 決算補足資料

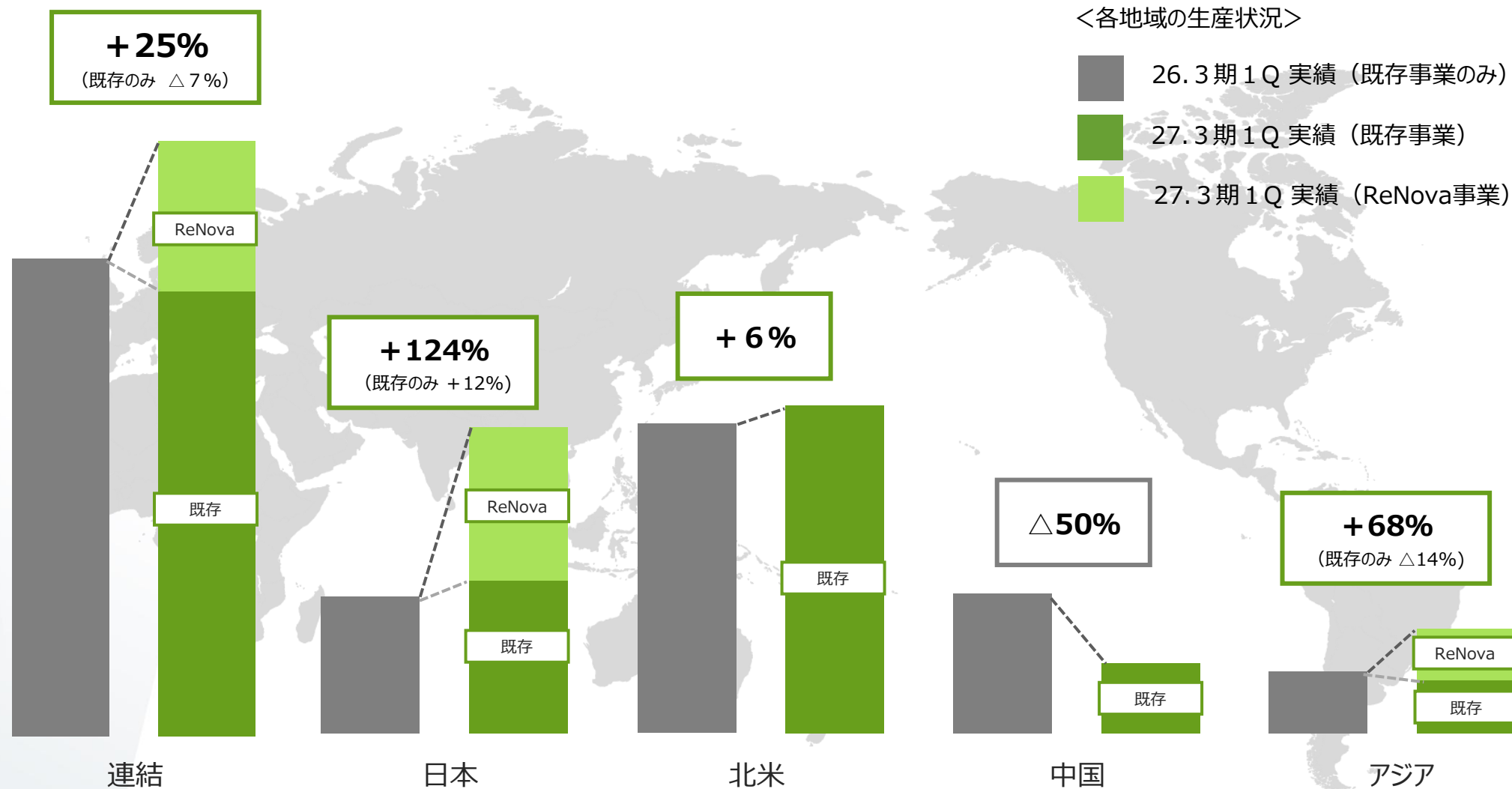
目次

1. 2027年3月期第1四半期決算
2. 2027年3月期業績予想の修正
3. 参考資料

1. 2027年3月期第1四半期決算

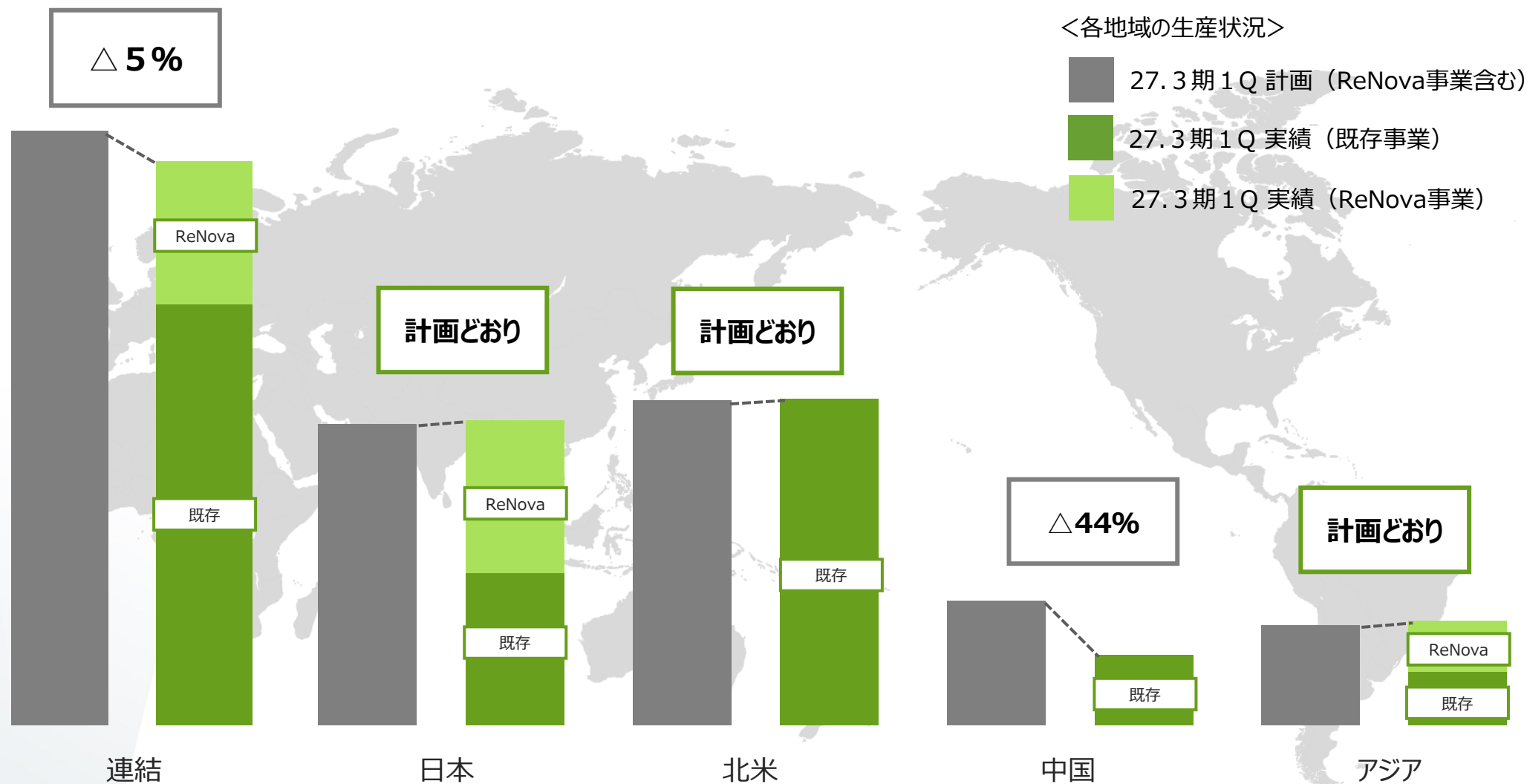
2027年3月期第1四半期 事業環境（対前期比）

2026年4月に取得したReNova事業（森六ReNova(株)および子会社2社）の連結効果により、日本・アジアで事業規模が拡大
既存事業では、中国は苦戦が続く一方、北米は堅調に推移



2027年3月期第1四半期 事業環境（対計画比）

中国は厳しい事業環境が続く一方、日本・北米・アジアは概ね計画どおりに推移



2027年3月期第1四半期 連結業績

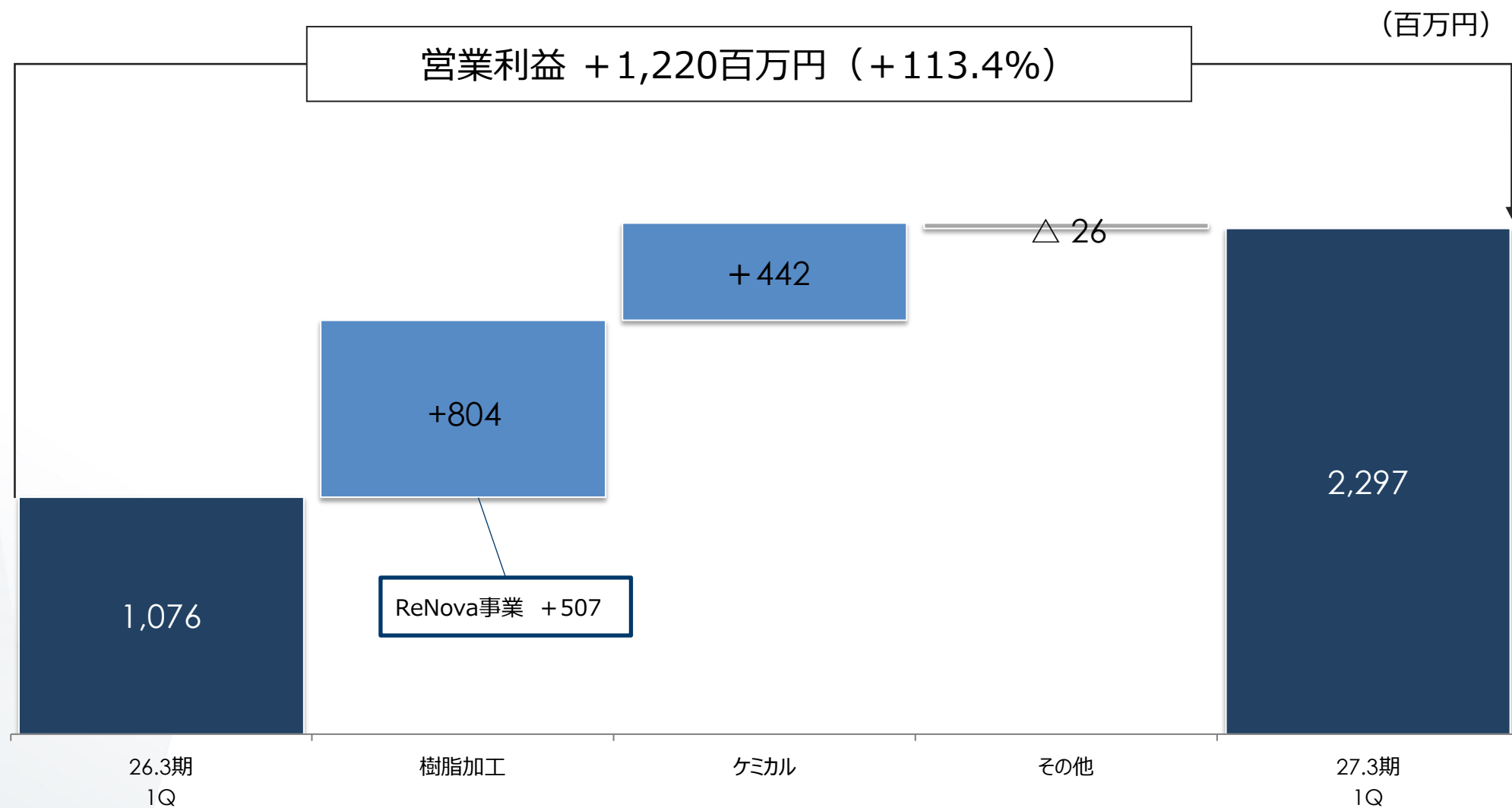
売上高・営業利益：樹脂加工製品事業は、ReNova事業の連結効果に加え、既存事業が日本・北米で堅調
ケミカル事業の販売増・価格改定効果や、為替の影響もあり、増収増益

四半期純利益： ReNova事業の連結に伴い、負ののれん発生益21億円を特別利益として計上

(億円)

	26.3期 1Q	27.3期 1Q			為替 影響額	為替除き 増減額	為替除き 増減率
			増減額	増減率			
売上高	338	481	143	42.5%	23	120	35.6%
営業利益	10	22	12	113.4%	0	11	104.8%
営業利益率	3.2%	4.8%	1.6pt	-	-	-	-
経常利益	9	22	13	153.6%	0	12	143.4%
特別損益	0	21	20	-	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	5	34	29	560.5%	0	28	546.5%
為替 (USDドル)	144.6円	159.6円	15.0円	10.4%			
(中国元)	21.0円	23.5円	2.5円	11.9%			

連結営業利益 増減分析



2027年3月期第1四半期 セグメント別業績

樹脂加工：中国の苦戦はあったものの、日本や北米で顧客生産台数が増加。ReNova事業の連結効果もあり、増収増益

ケミカル：販売数量の増加や仕入価格の上昇に伴う価格改定効果、ものづくり分野における製造原価の削減等により、増収増益

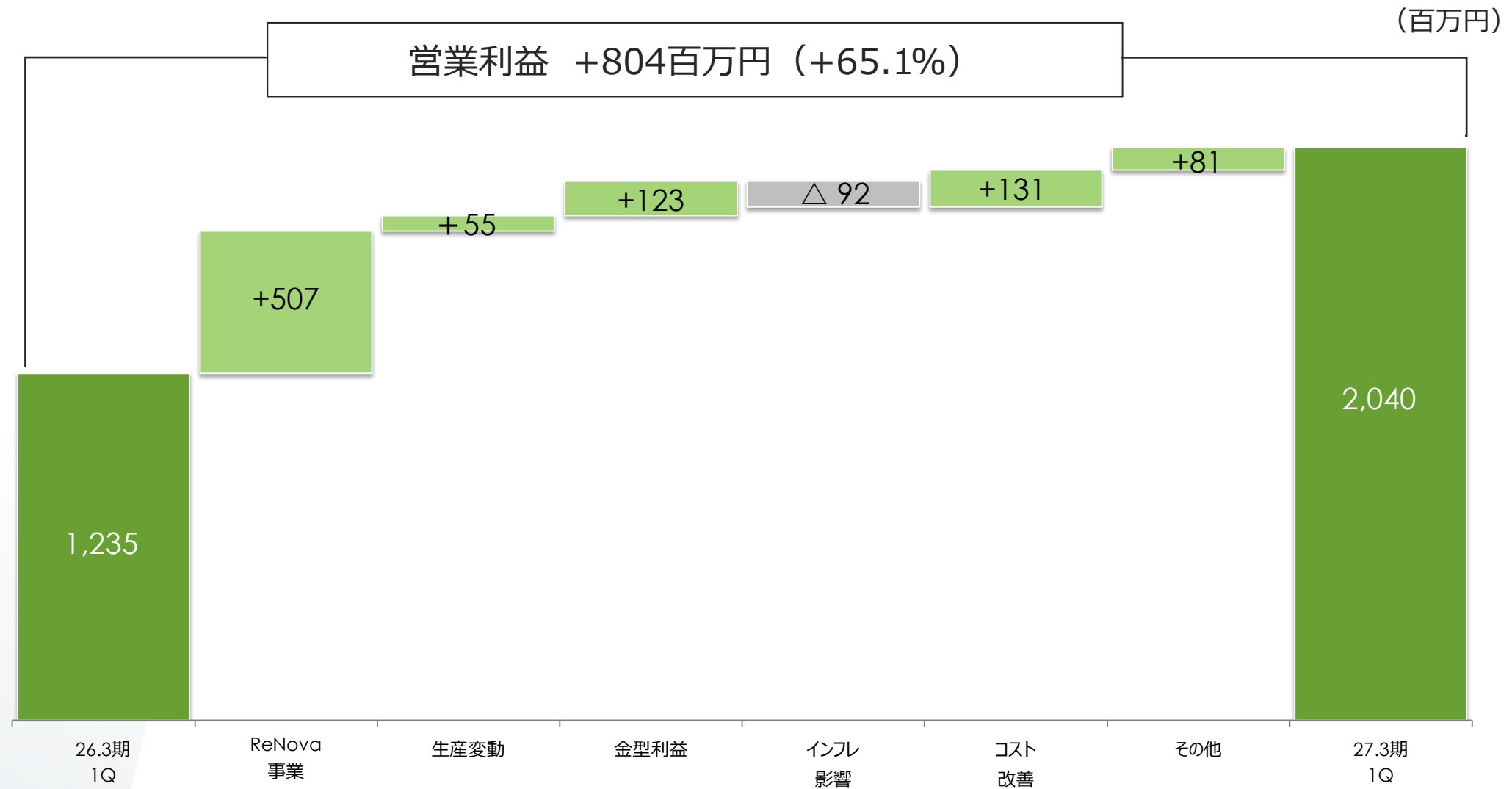
(億円)

	26.3期 1 Q	27.3期 1 Q			為替 影響額	為替除き 増減額	為替除き 増減率
			増減額	増減率			
売上高	338	481	143	42.5%	23	120	35.6%
樹脂加工製品事業	277	416	139	50.5%	20	119	43.0%
(うち、ReNova事業)	-	129	129	-	-	-	-
ケミカル事業 ※1	61	64	3	6.3%	2	1	2.0%
営業利益	10	22	12	113.4%	0	11	104.8%
樹脂加工製品事業	12	20	8	65.1%	0	7	58.9%
(うち、ReNova事業)	-	5	5	-	-	-	-
ケミカル事業	2	7	4	157.1%	0	4	151.5%
調整額	△ 4	△ 4	△ 0	-	-	-	-
営業利益率(%)	3.2%	4.8%	1.6pt	-			
樹脂加工製品事業	4.5%	4.9%	0.4pt	-			
ケミカル事業 ※1	4.6%	11.2%	6.6pt	-			

※1 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合のケミカル事業の売上高および営業利益率
26.3期1Q 売上高166億円、営業利益率1.7% / 27.3期1Q 売上高180億円、営業利益率4.0%

※2 今期より、国内における二輪の樹脂部品事業を、ケミカル事業から樹脂加工製品事業に移管いたしました。

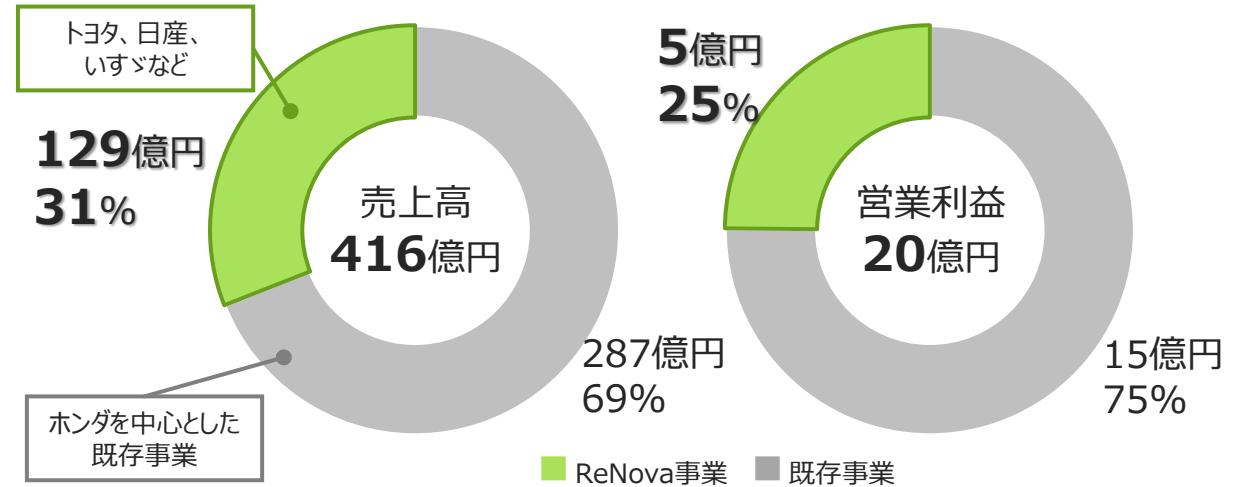
樹脂加工製品事業・営業利益 増減分析



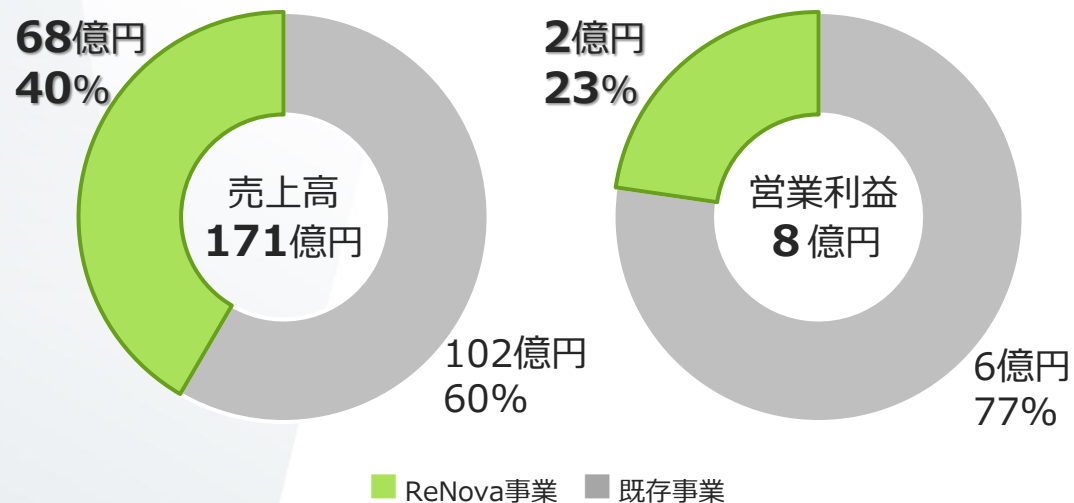
ReNova事業の実績

	27.3期 1Q実績
売上高	129億円
営業利益	5億円
営業利益率	3.9%

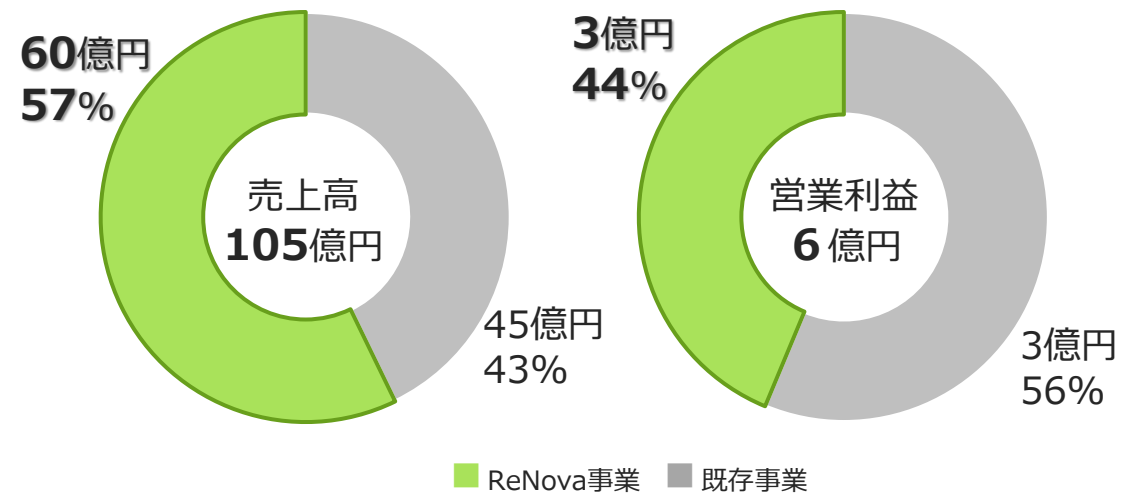
● 樹脂加工製品事業に占めるReNova事業の割合 (27.3期 1Q実績)



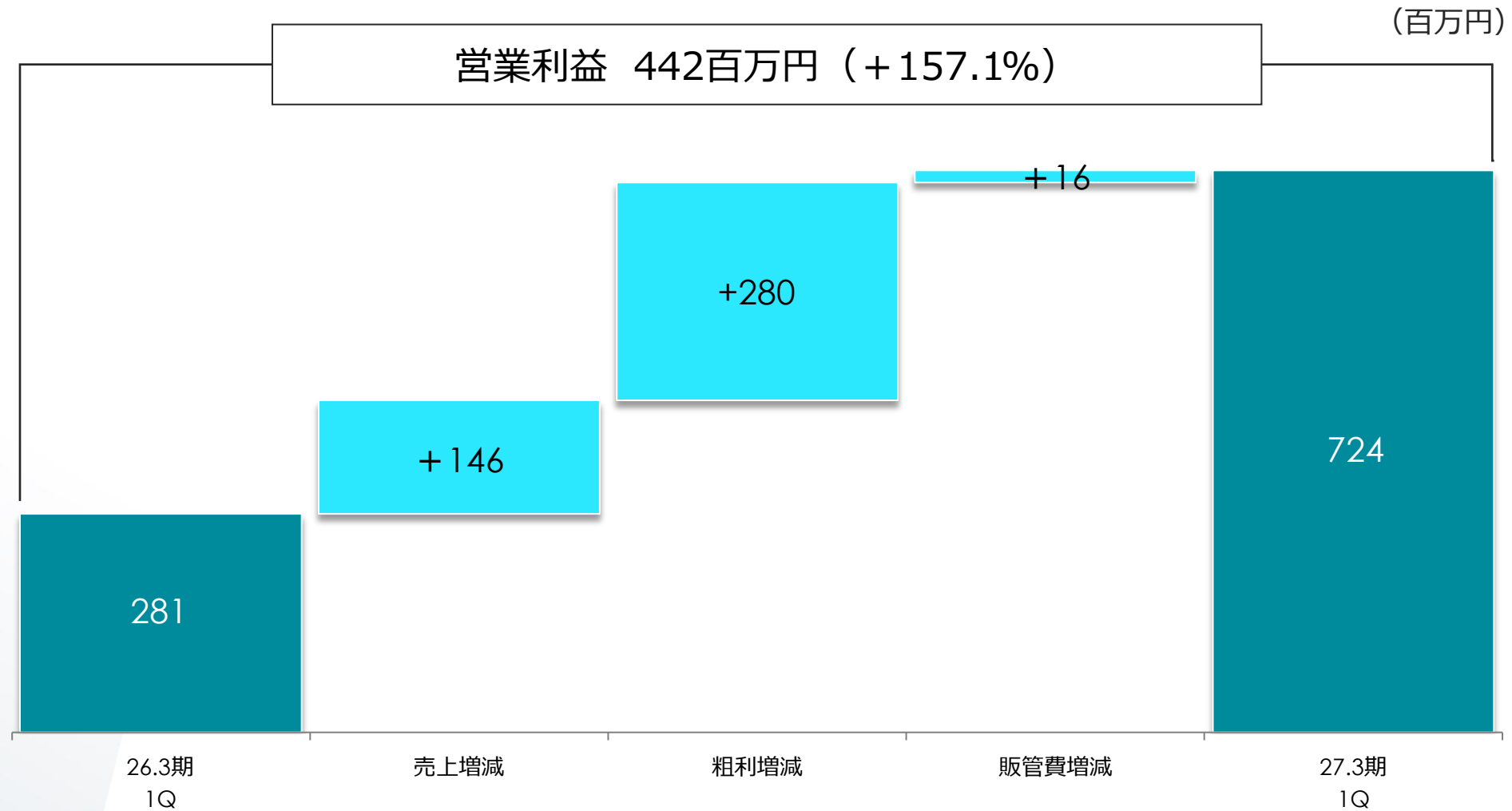
● 所在地別・日本に占めるReNova事業の割合 (27.3期 1Q実績)



● 所在地別・アジアに占めるReNova事業の割合 (27.3期 1Q実績)

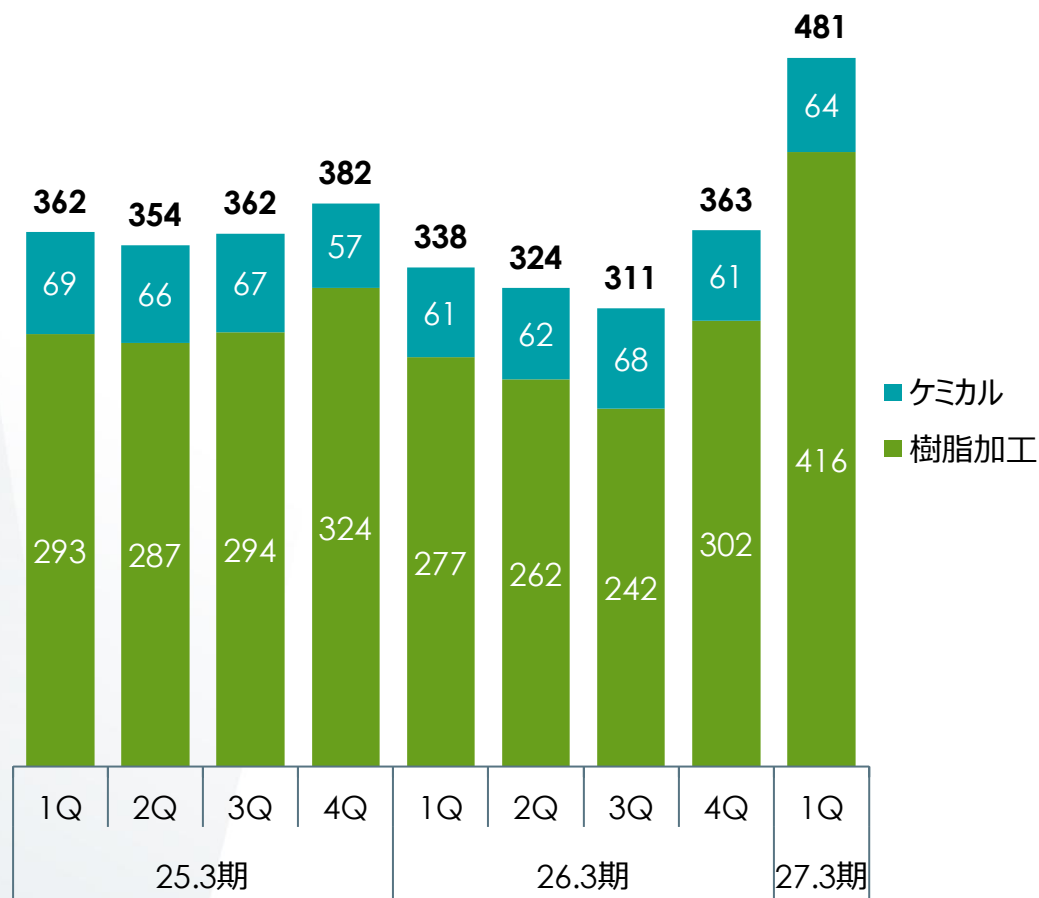


ケミカル事業・営業利益 増減分析

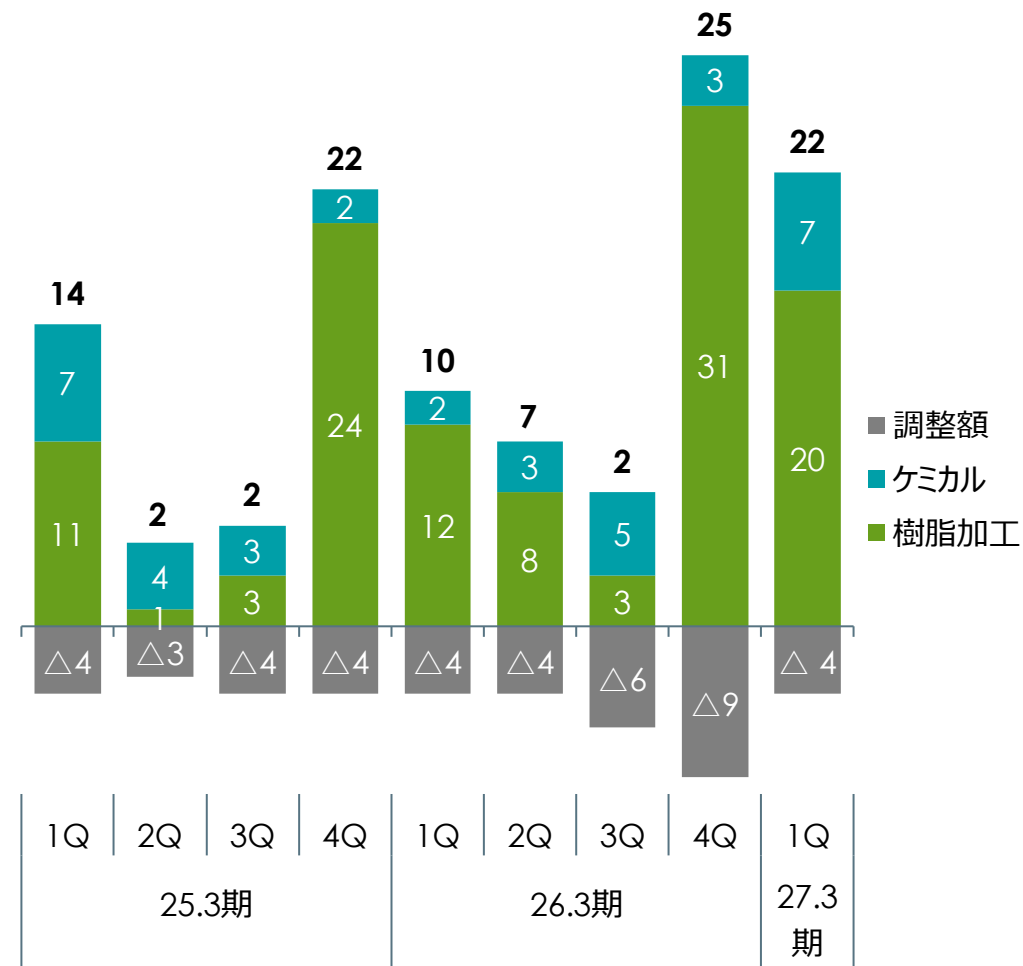


セグメント別・四半期売上高、営業利益

● セグメント別・四半期売上高（億円）



● セグメント別・四半期営業利益（億円）



所在地別売上高・営業利益

(億円)

	26.3期		27.3期		増減額	増減率
	1Q	構成比率	1Q	構成比率		
売上高 計	338	100.0%	481	100.0%	143	42.5%
┃ 日本	88	26.3%	171	35.5%	82	92.6%
┃ 北米	176	52.3%	184	38.2%	7	4.0%
┃ 中国	27	8.2%	20	4.3%	△ 7	△26.0%
┃ アジア	44	13.1%	105	22.0%	61	139.0%
┃ その他	0	0.1%	0	0.0%	△ 0	△16.7%
営業利益 計	10	100.0%	22	100.0%	12	113.4%
┃ 日本	△ 0	△1.9%	8	39.1%	9	-
┃ 北米	4	45.6%	6	27.3%	1	27.5%
┃ 中国	0	3.4%	0	3.7%	0	132.1%
┃ アジア	4	44.0%	6	30.2%	2	46.4%
┃ その他	△ 0	△1.2%	△ 0	△0.2%	0	-
┃ 調整額	1	10.1%	△ 0	△0.1%	△ 1	-

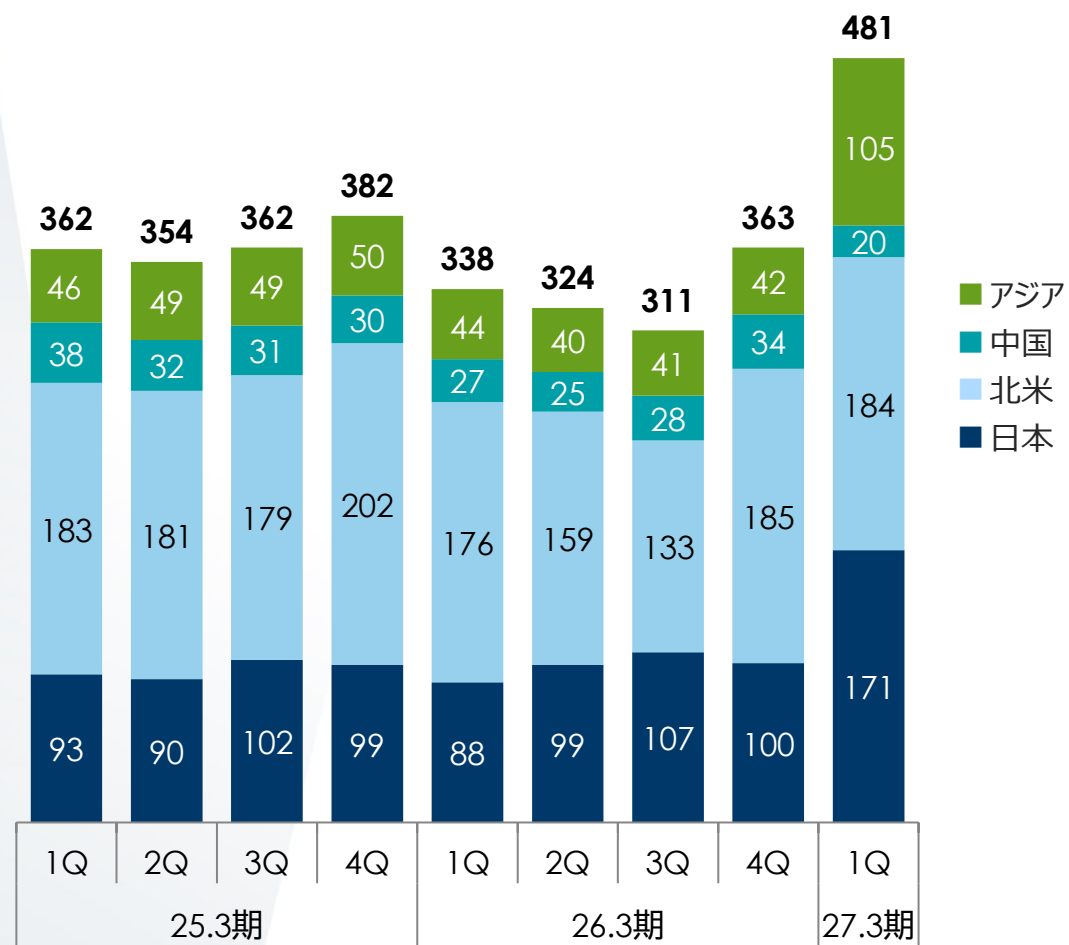
所在地別・四半期売上高、営業利益

日本：主要顧客の生産台数増加 + ReNovaグループの連結効果により、増収増益

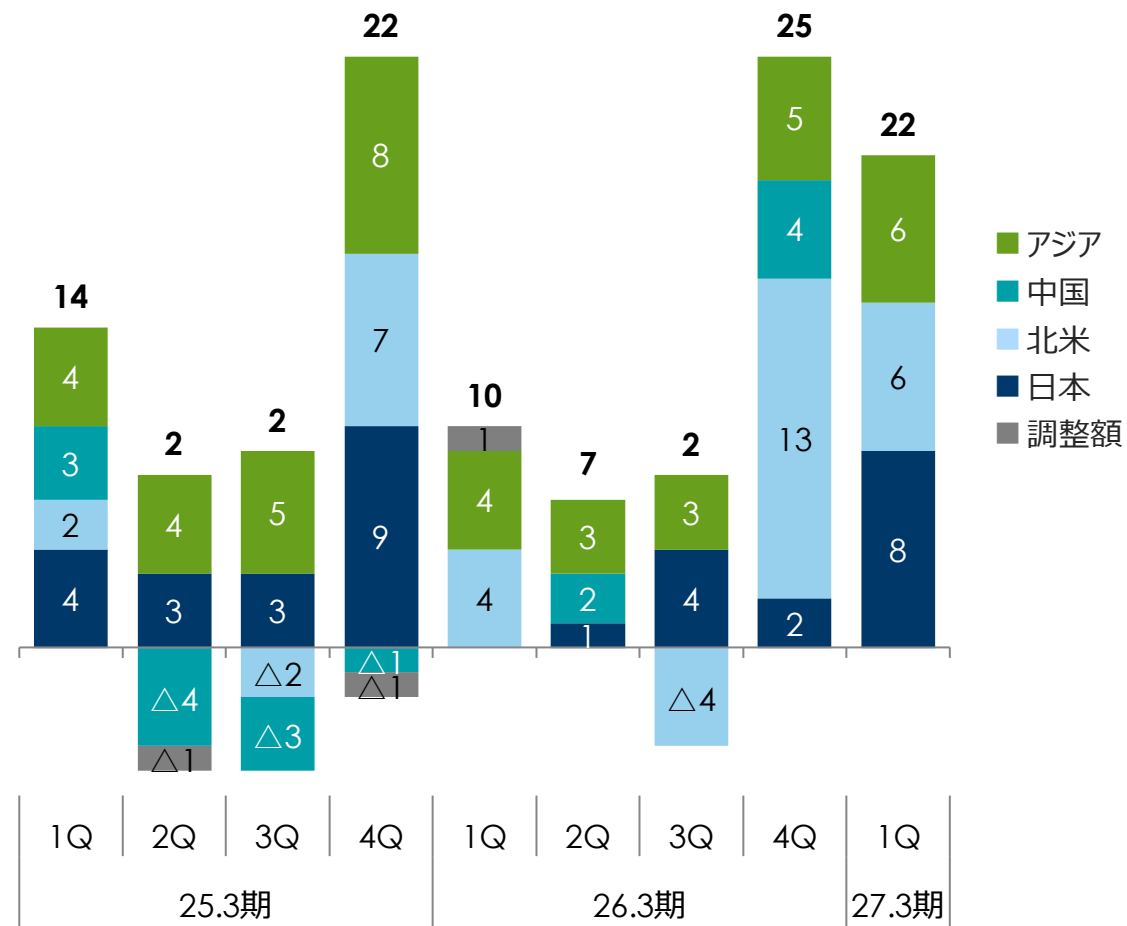
北米：前4Q比で一過性利益の反動減はあるものの、生産性向上により利益は堅調

アジア：インドネシアの低迷を、インドの回復、タイのReNovaグループ連結効果でカバー

● 所在地別・四半期売上高（億円）



● 所在地別・四半期営業利益（億円）



2027年3月期第1四半期 貸借対照表（概略）

ReNova事業の取得に伴い財政規模が拡大

取得資金を借入で調達したことから自己資本比率は低下したものの、財務基盤は引き続き健全

(億円)

	26.3期末	27.3期 1Q末	増減額		26.3期末	27.3期 1Q末	増減額
流動資産	721	1,050	328	流動負債	492	690	197
（現預金）	158	346	187	（買入債務）	197	252	54
（売上債権）	321	408	86	（短期借入金・社債）	159	242	83
（在庫）	192	215	22	固定負債	70	227	156
固定資産	515	698	183	（長期借入金・社債）	29	161	131
（有形固定資産）	376	540	164	負債合計	563	917	353
（投資有価証券）	84	96	12	純資産	673	831	158
				（資本剰余金）	13	13	0
				（利益剰余金）	481	508	26
				（自己株式）	△ 1	△ 0	1
				（評価・換算差額）	150	164	13
資産合計	1,237	1,748	511	負債純資産合計	1,237	1,748	511
				借入金・社債合計	188	403	215
				自己資本比率	53.5%	40.2%	△13.3pt

2. 2027年3月期業績予想の修正

2027年3月期 通期連結業績予想の修正

第1四半期の上振れに加えて、負ののれん発生益を反映し、期初予想を上方修正

(億円)

	26.3期 実績(A)	27.3期			前期比 増減額 (C-A)	前期比 増減額
		期初予想 (5月14日付) (B)	修正予想 (8月6日付) (C)	増減額 (C-B)		
売上高	1,338	1,944	1,946	2	607	45.4%
営業利益	46	60	65	5	18	40.1%
営業利益率	3.5%	3.1%	3.3%	0.2pt	-	-
経常利益	39	53	56	3	16	40.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	24	31	54	23	29	120.7%
一株配当(円)	115.0円	125.0円	125.0円	-	10.0円	8.7%
為替 (USドル)	150.7円	145.0円	145.0円			
(中国元)	20.8円	19.5円	19.5円			

2027年3月期 セグメント別業績予想の修正

樹脂加工：中東情勢や中国の先行きに対する不透明感はあるも、北米の収益性向上や日本のモデルミックスの改善で吸収し、増益を見込む
ケミカル：販売価格の改定効果により増益を見込む

(億円)

	26.3期 実績	27.3期			前期比 増減額 (C-A)	前期比 増減額
		期初予想 (5月14日付) (B)	修正予想 (8月6日付) (C)	増減額 (C-B)		
売上高	1,338	1,944	1,946	2	607	45.4%
樹脂加工製品事業	1,084	1,688	1,687	△ 1	602	55.6%
ケミカル事業 ※	254	256	259	3	4	1.7%
営業利益	46	60	65	5	18	40.1%
樹脂加工製品事業	55	64	66	2	10	18.6%
ケミカル事業	15	16	21	5	5	36.0%
調整額	△ 24	△ 20	△ 22	△ 2	2	-
営業利益率(%)	3.5%	3.1%	3.3%	0.2pt	△0.2pt	-
樹脂加工製品事業	5.1%	3.8%	3.9%	0.1pt	△1.2pt	-
ケミカル事業 ※	6.1%	6.3%	8.1%	1.8pt	2.0pt	-

※ 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値

26.3期実績 売上高670億円、営業利益率2.3%、27.3期見通し 売上高696億円、営業利益率3.0%

3. 参考資料

(2026/5/19付 2026年3月期決算説明会資料 再掲)



M&Aによる成長貢献のポイント——経営資本の増強

ReNova事業のもつメーカーとして魅力的な経営資本が、森六グループに加わり、さらなる強みの獲得につながる

成長貢献 **1** 高水準の軽量化・バックドアモジュール化技術の獲得

技術

外装発泡やモジュール化による**軽量化技術** → 高付加価値な**外装樹脂部品**の強化

製品

乗用車のみから、**商用車の内外装部品**への拡大

R&D

開発リソースの融合（生産技術、新素材、特許基盤の統合など）および合理化

樹脂成型部品の トップサプライヤーへ

14次中計 開発テーマへの貢献

コア技術
進化

新価値
製品

環境

成長貢献 **2** 当社にない自動車メーカーとの取引基盤の獲得

営業

ホンダ社以外の有力自動車メーカーとの取引基盤

QCD

製造キャパシティの相互活用により、顧客への最適供給体制を実現

顧客基盤の
拡大による
売上・利益成長の実現

成長貢献 **3** 人的資源・知見の融合

人材

人材の最適配置と知見の相互活用による組織力強化

共創による
新たな価値創出

ReNova事業による技術・製品ポートフォリオの拡充

森六グループでは従来、量産実績のなかった「外装発泡成形品」「バックドア」「バンパーフェイス」がラインナップに加わる
森六が得意としてきた軽量化・高剛性に向けた素材・設計技術が、さらに拡充される

軽量化製品		その他内外装製品					
製品ラインナップ	サイドシル ガーニッシュなど	バックドア	バンパー フェイス	ラジエータ グリル	インパネ	コンソール ボックス	ドアトリム
	 樹脂内部を発泡させながら、表面は平滑性を確保する、独自の外装発泡技術を活用した世界初の外装成形品。	 自動車の後部にある背面開閉式のドア。 日本で初めて製造に成功した大型外装モジュール製品。	 自動車の前後に設置されている保護装置。	 ヘッドライトとヘッドライトの間にある、メーカーエンブレムなどが装着された装飾パーツ。	 車両の運転席前方に配置される計器類やスイッチ、ディスプレイなどが集約されたパネル。	 車両の運転席と助手席の間に設置される収納スペース。	 ドア室内側の内張り部品。
適応技術	外装発泡 外観品質を維持しながら、軽量化と剛性確保を実現	軽量化・高剛性 軽量・高強度を実現する 素材/設計技術	大型外装部品 成形技術 3500t級大型成形機 を活用した量産技術	部品（金型）設計・成形・塗装・組立技術 材料選定～部品/金型設計～製品製造・納入まで一貫して自社対応可			
森六実績	新規	新規	新規	量産実績あり	量産実績あり	量産実績あり	量産実績あり

+

森六の製品・技術ラインナップ



｜ ご注意事項 ｜

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。